



令和4・5年度 大島地区研究協力校【指導方法改善】令和6年1月25日(木)

奄美市立伊津部小学校 公開研究会

本研究は、「**児童の学習への意欲を更に高めたい**」という本校職員の切実な願いから始まりました。

児童像

- ・エンゲージメント (Engagement)
- ・エージェンシー (Agency)
- ①目標、②振り返り、③責任をもって行動

児童が**学びに「没頭」し、「熱中」し、「夢中」になっている状態の実現を目指す。**

児童が各教科等の視点と学び方を吟味・選択・統合・発揮して、**自己の学びを「調整」しながら主体的に学んでいく授業。**

授業像

- ・個別最適な学び (指導の個別化・学習の個性化)と協働的な学びの一体化
- ・複式指導法

研究主題

自己の学びを調整しながら主体的に学ぶ児童の育成

4つの共通目標

- 【共通目標1】** 児童が、自己の学びを調整できるようにすること。
- 【共通目標2】** 児童が、視点を明確にして「見る・聞く・読む」ことができるようにすること。
- 【共通目標3】** 児童が、友達や教師と協働的に問題を解決できるようにすること。
- 【共通目標4】** 児童が、自分の考えを言葉や記号、図表等を用いて、ノートやタブレット端末に表すことができるようにすること。

「伊津部小学校の授業モデル」の提案



研究構造図



「学び方」の系統



公開研究会当日の様子

全体会 I (開会のあいさつ)

公開授業・分科会

全体会 II (指導講話)



大島教育事務所 溜 清弘 所長



奄美市教育委員会 村田 達治 教育長



公開授業 分科会 (第2・3・5学年)



大島教育事務所 小峯 三朗 指導課 指導主事兼指導係長

参加された先生方の声

- ・ 先進的で質の高い研究理論を知ることができた。
- ・ 理論を上位に、子供主体の授業実践を具現化している様子が十分現れており、今後のよいモデルとなった。
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを実現させた授業を見ることができて、目指す授業を明確にイメージすることができた。